

第三次湖南省行政改革 住民自治の進め方



議会改革ネットワーク ● 赤祖父 裕美 議員

問 第二次湖南省行政改革大綱の検証(PDCA)は十分であったか。

答 外部評価委員会での意見の中で、十分でないという指摘を受けてきました。28年5月に第三次湖南省行政改革実施計画を策定しましたが、中間評価をし、軌道修正も行いながら、PDCAを着実に実施していきます。

問 前回の質問で答弁された、市民の声を聞く意味での行政改革推進市民サポーターの設置は必要ではないのか。

答 今後引き続き検討していきます。

問 「東西庁舎の行政機能の集約」については、庁舎整備と社会教育施設を一緒に統括し、各課連携を密にして進めなくては進まないのではないか。

答 庁舎整備事業については平成29年度に新

しい国の起債も始まるよう、西庁舎、周辺施設をどうするかも含めて、市民の皆さんの声を聞きながらじっくりと進めていきます。

学童の現状について

問 石部学童保育所は、急激な児童増に対応するため、石部保健センターとの2か所になるが、同地での運営継続を、との意見を聞いているか。

答 近隣の公共施設も検討します。児童増に対応するために、募集時期を早めます。



健康貯金教室の検証と次なる施策

問 野菜摂取量の確保が課題です。「ここびあ」を会場とした事業も計画していきますか。

まちの活性化について



無所属の会 市民の力 ● 望月 卓 議員

問 湖南省のシンボルであるウツクシマツは、大正10年3月3日に「国の天然記念物」に指定されている貴重な「あか松」です。二月の雪害もあり、現存するのは149本で、30年前の半分もありません。今の取り組みは。

答 「天然記念物ウツクシマツ保全」へのふるさと納税があり、平成28年度の天然記念物ウツクシマツ保全に関する事業に対して、きらめき湖南づくり応援基金を繰入充当しています。また、2月24日にウツクシマツに関係する生涯学習課と農林保全課、商工観光労働課の担当者が現状と課題について協議を行いました。

平成29年度以降は、平松区からの提案を受けて関係各課で協議後、樹木医、県林業普及センターなどの専門

家、林業・造園の関係者を交えた検討会を立ち上げ、さらに、10年後20年後に向け、平成30、31年度に、国の文化庁や県教育委員会の指導を受けながら、保存管理計画を策定します。



雪害により倒れたうちの1本

問 スポーツカーニバル復活に「ソフトスポーツ」活用は。

答 多くの人が参加できるスポーツイベントの実施に向け「市民参加型のスポーツを考える会」を設け「二日スポーツデー」の秋の開催を検討しています。